

令和５年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

令和５年４月１８日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は６年生で、国語、算数の２教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下 回 っ て い る	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上 回 っ て い る
国語	６７．２％					○
算数	６２．５％					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2%					○
情報の扱い方に関する事項	63.4%				○	
話すこと・聞くこと	72.6%					○
書くこと	26.7%					○
読むこと	71.2%					○

【考 察】

- 「情報の扱い方に関する事項」では、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う部分に課題が見られました。文章の構造をとらえられるよう文章に書き込んだり、図などに表現したりしながら指導していきます。
- 「書くこと」では、目的や意図に応じ、話の内容をとらえ、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができます。今後も、自分の考えをもって話し手の考えと比較しながら書いたり、話したりするなどの機会を設定して指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	67.3%					○
図 形	48.2%					○
変化と関係	70.9%					○
データの活用	65.5%					○

【考 察】

- 「変化と関係」では、伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できています。百分率で表された割合について理解できるように、もとにする量、比べられる量、割合の関係を図や式と関連付けながら指導していきます。
- 「図形」では、台形の意味や性質について理解できています。正方形の意味や性質について確実に理解できるよう、操作活動などを取り入れながら実感を伴った理解が促されるような授業を実践していきます。